

鋁工業指数参考図表集
(2020年9月速報)

2020年10月30日

經濟解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

2020年9月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

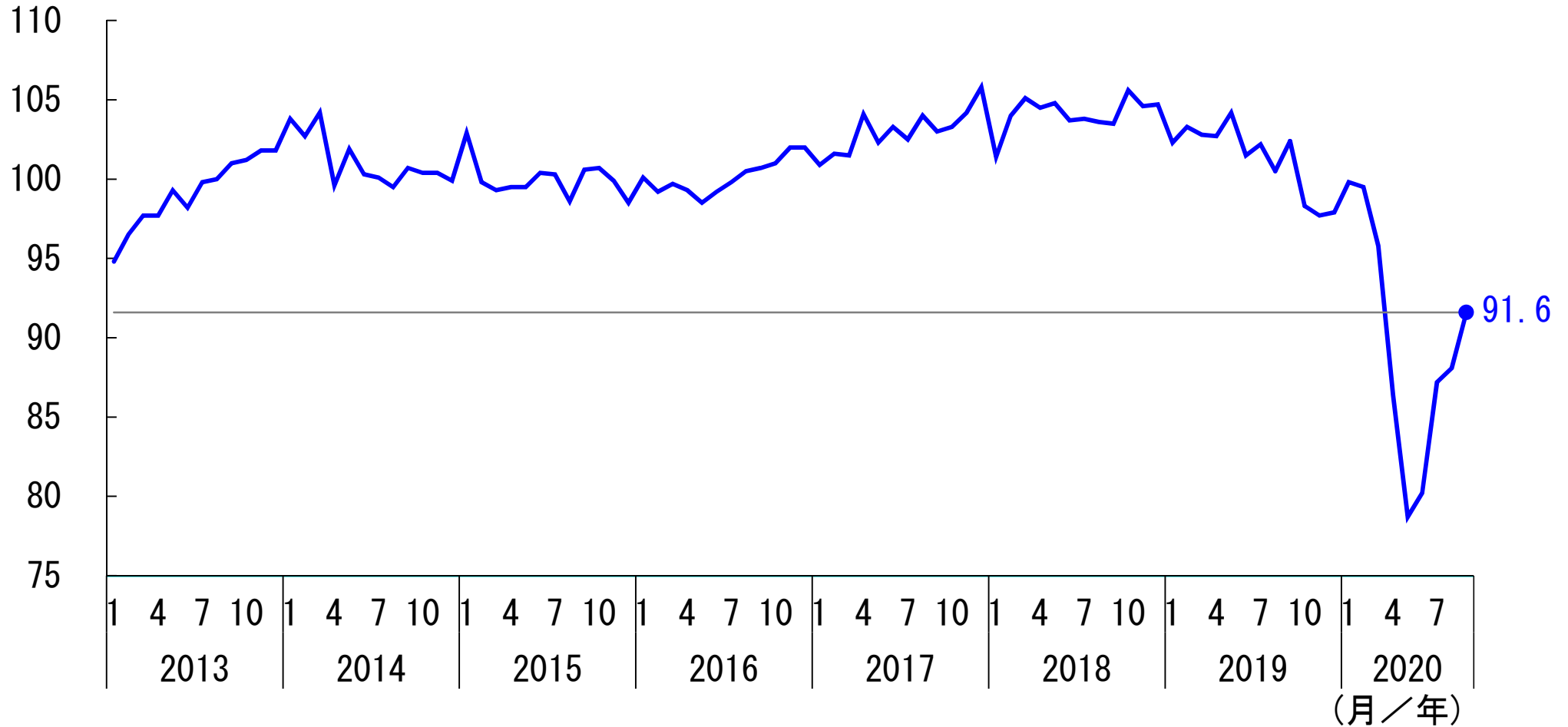
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	91.6	90.4	97.7	118.6
前月比	4.0%	3.8%	-0.3%	-3.7%
指数水準	2020.3 95.8以来 I 2017.12 105.8 II 2018.10 105.6 III 2018.3 105.1	2020.3 93.2以来 I 2014.3 105.7 II 2017.12 105.4 III 2014.1, 2018.4, 10 104.4	2017.1 97.1以来 ①2014.3 95.3 ②2013.11 95.6 ③2013.8 96.2	2020.2 112.5以来 ①2014.3 89.1 ②2013.11 90.8 ③2014.1 91.8
前月比の動き	4か月連続+ (2020.6~当月)	4か月連続+ (2020.6~当月)	6か月連続- (2020.4~当月)	4か月連続- (2020.6~当月)
前月比幅	2020.7 8.7%以来 I 2020.7 8.7% II 2020.9 4.0% III 2015.1 3.0%	2020.7 6.6%以来 I 2020.7 6.6% II 2020.6 4.8% III 2020.9 3.8%	2020.8 -1.3%以来 ①2020.5 -2.6% ②2020.6 -2.4% ③2013.11 -2.2%	2020.7 -8.9%以来 ①2020.7 -8.9% ②2020.6 -7.1% ③2014.3 -4.4%
前年同月比(原指数)	-9.0%(95.6)	-9.9%(94.8)	-5.5%(96.9)	7.5%(112.4)
前年同月比の動き	12か月連続- (2019.10~当月)	12か月連続- (2019.10~当月)	5か月連続- (2020.5~当月)	22か月連続+ (2018.12~当月)
前年同月比幅	2020.8 -13.8%以来 ①2020.5 -26.3% ②2020.6 -18.2% ③2020.7 -15.5%	2020.8 -14.2%以来 ①2020.5 -26.8% ②2020.4, 6, 7 -16.6% ③2020.8 -14.2%	2020.8 -5.9%以来 ①2020.8 -5.9% ②2020.9 -5.5% ③2020.7 -4.8%	2020.8 13.0%以来 I 2020.5 40.7% II 2020.4 29.2% III 2020.6 22.5%

1) I~IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①~③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数の動向

・ 2020年9月の鋳工業生産指数は、91.6(前月比4.0%)と4か月連続の上昇。

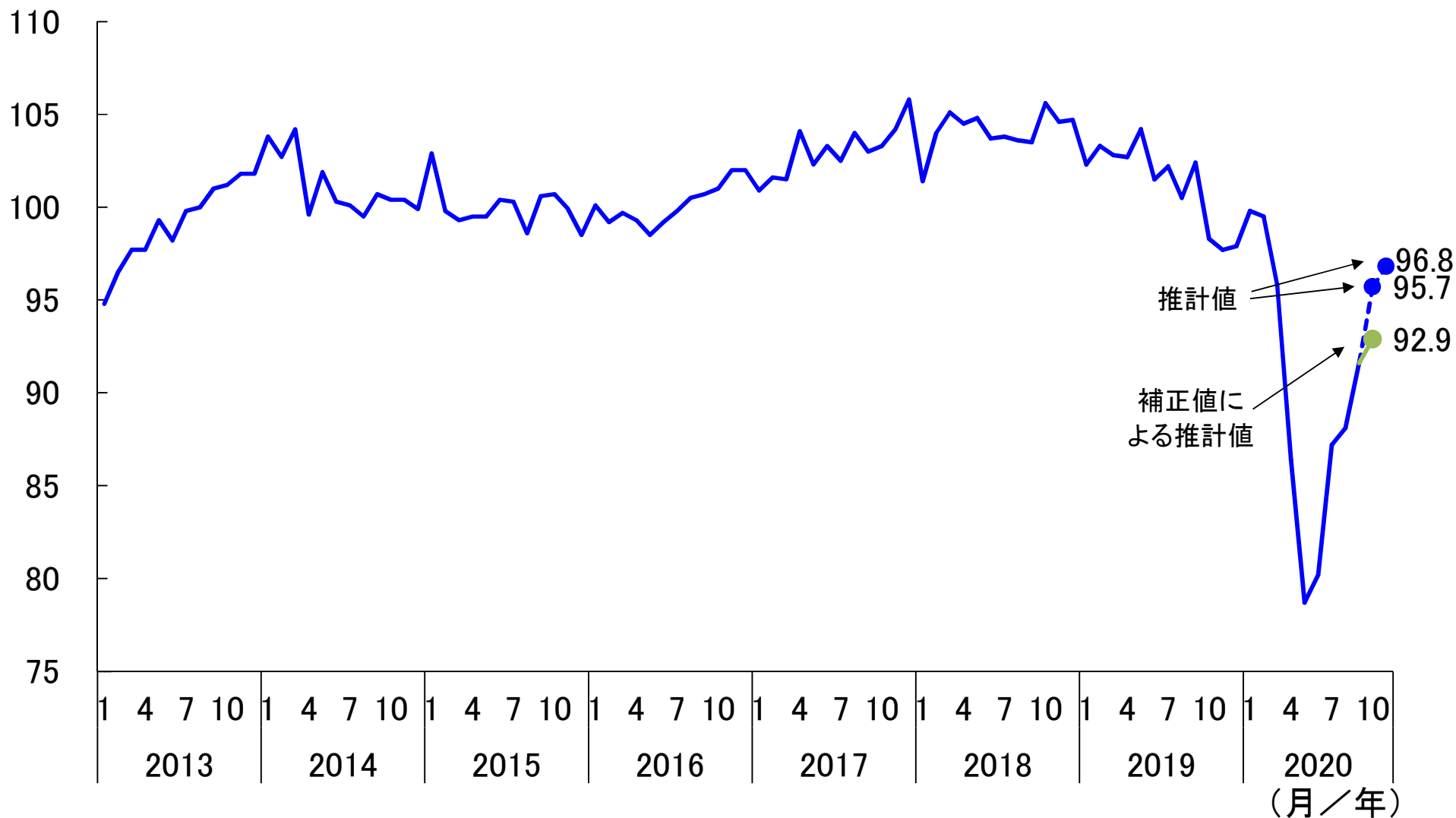
(2015年=100、季節調整済)



(注) 鋳工業指数 (IIP) とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2015年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。

製造工業生産予測調査の前月比で鉱工業指数（季節調整値）を延長

(2015年=100、季節調整済)



(注) 補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したものです。

2020年9月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っぱり張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	10.9%	42.4%
	品目	乗用車	12.9%	24.8%
		車体・自動車部品	9.8%	15.1%
	2位の業種	生産用機械工業	11.1%	18.2%
	品目	建設・鉱山機械	19.3%	5.4%
		その他の生産用機械	15.4%	4.5%
3位の業種	電気・情報通信機械工業	4.8%	9.6%	
品目	電池	26.0%	5.1%	
	空調・住宅関連機器	11.0%	2.1%	
鉱工業生産を低下方向へ引っぱり張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	汎用・業務用機械工業	-7.0%	-12.7%
	品目	ボイラ・原動機	-38.0%	-8.8%
		運搬装置	-24.8%	-5.7%
	2位の業種	無機・有機化学工業	-0.1%	-0.1%
	品目	環式中間物	-9.7%	-1.5%
		石油化学系基礎製品	-4.2%	-1.2%
3位の業種	—			
品目	—			

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注) 全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

2020年9月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	12.9%	24.8%
	2位	車体・自動車部品	9.8%	15.1%
	3位	集積回路	20.2%	12.6%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	ボイラ・原動機	-38.0%	-8.8%
	2位	運搬装置	-24.8%	-5.7%
	3位	電子デバイス	-17.4%	-4.6%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	4.5%	55.1%
		駆動伝導・操縦装置部品	12.5%	6.5%
		プラスチック製機械器具部品	11.0%	4.5%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	12.1%	26.8%
		普通乗用車	14.4%	18.1%
		小型乗用車	7.0%	2.0%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	1.8%	9.2%
		頭髮用化粧品	12.7%	2.2%
		石けん類	31.2%	2.1%
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送用)	0.7%	2.3%
		シヨベル系掘削機械	20.2%	5.1%
		半導体製造装置	8.9%	3.0%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	0.3%	0.5%
		ガス温水給湯暖房機・風呂がま	10.4%	0.6%
		鉄骨・軽量鉄骨	6.4%	0.5%

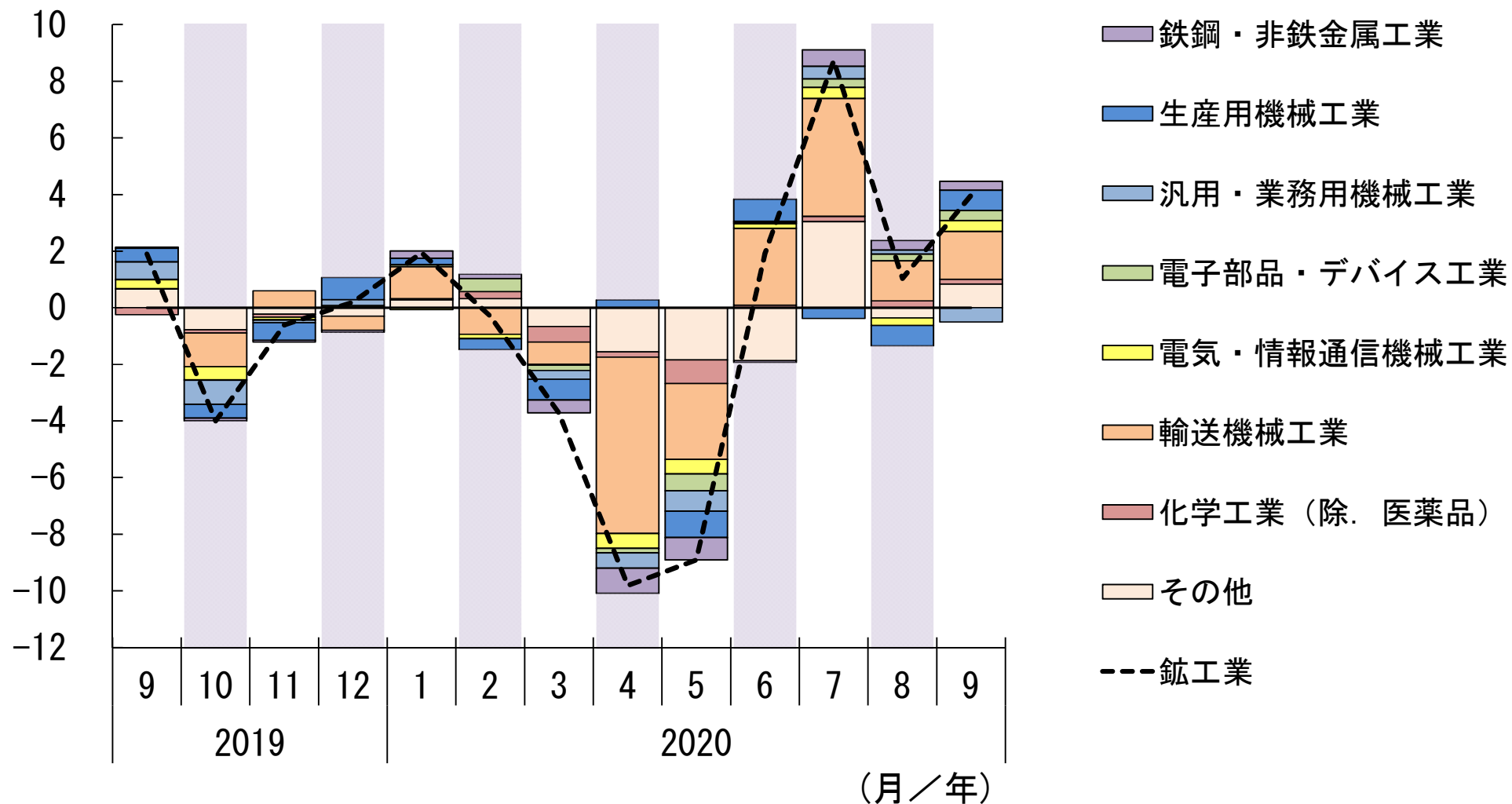
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

・2020年9月の生産指数は、汎用・業務用機械工業が低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前月比4.0%の上昇。

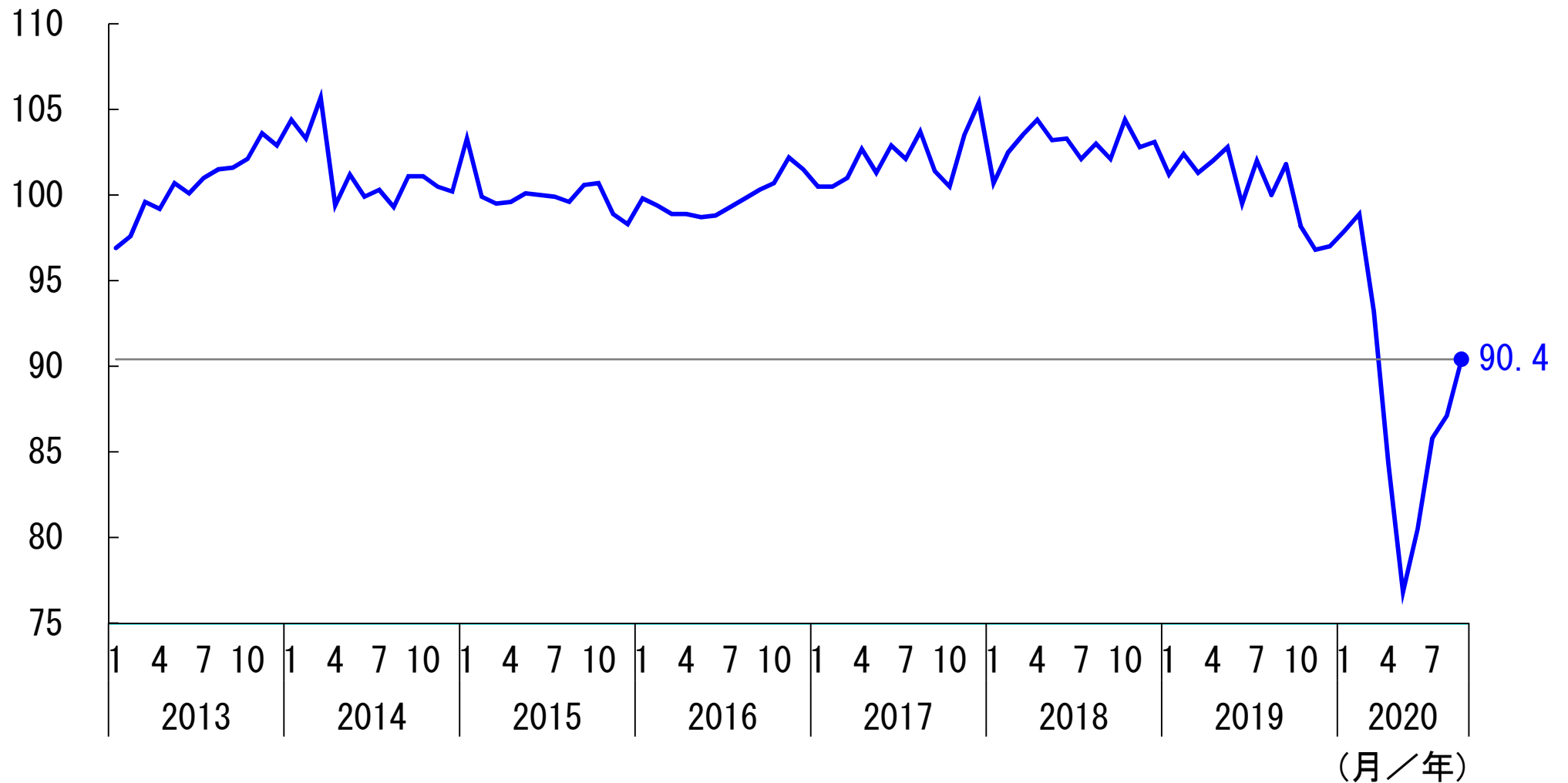
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鉍工業出荷指数の動向

・ 2020年9月の鉍工業出荷指数は、90.4(前月比3.8%)と4か月連続の上昇。

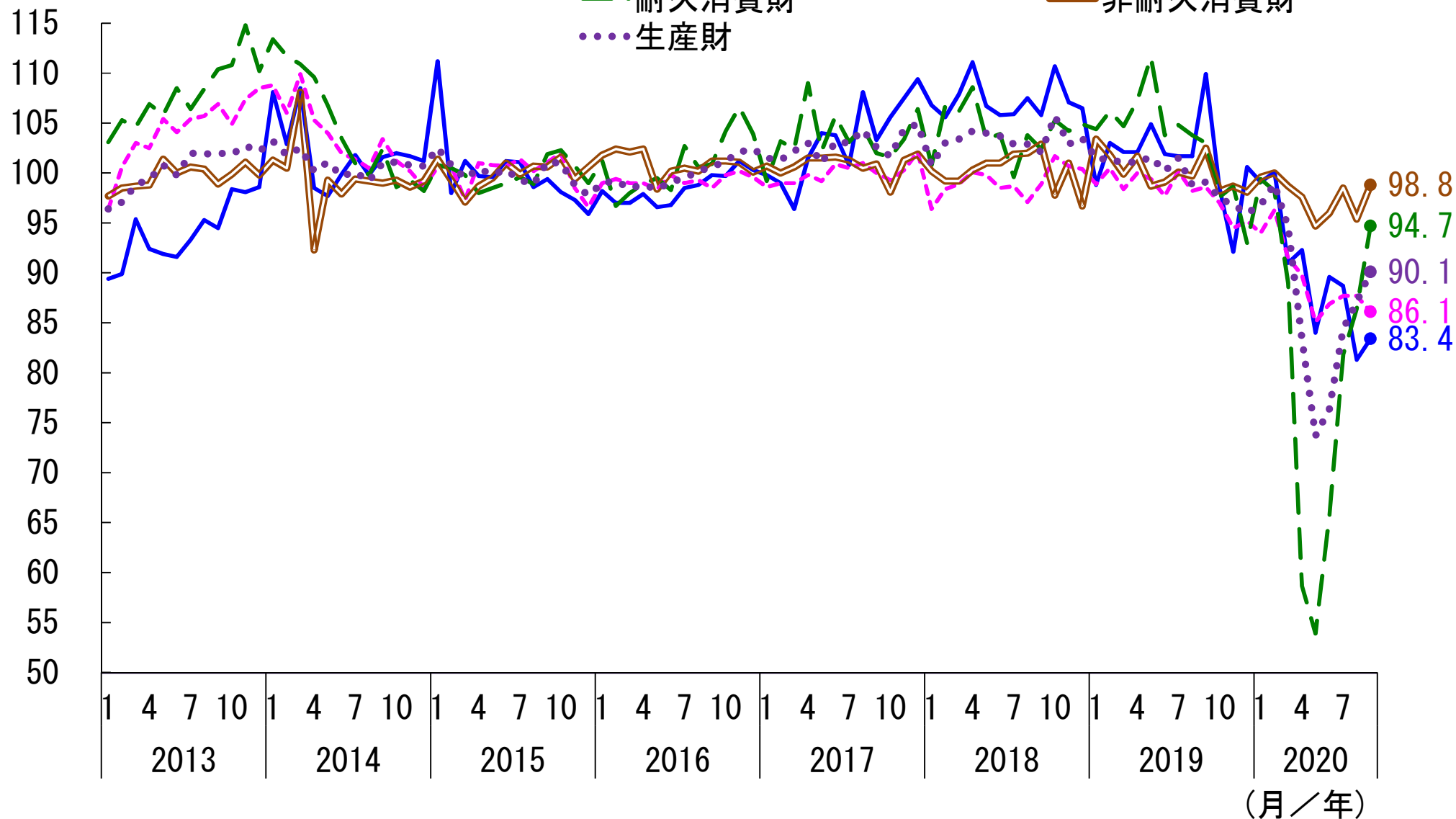
(2015年=100、季節調整済)



財別出荷指数の動向

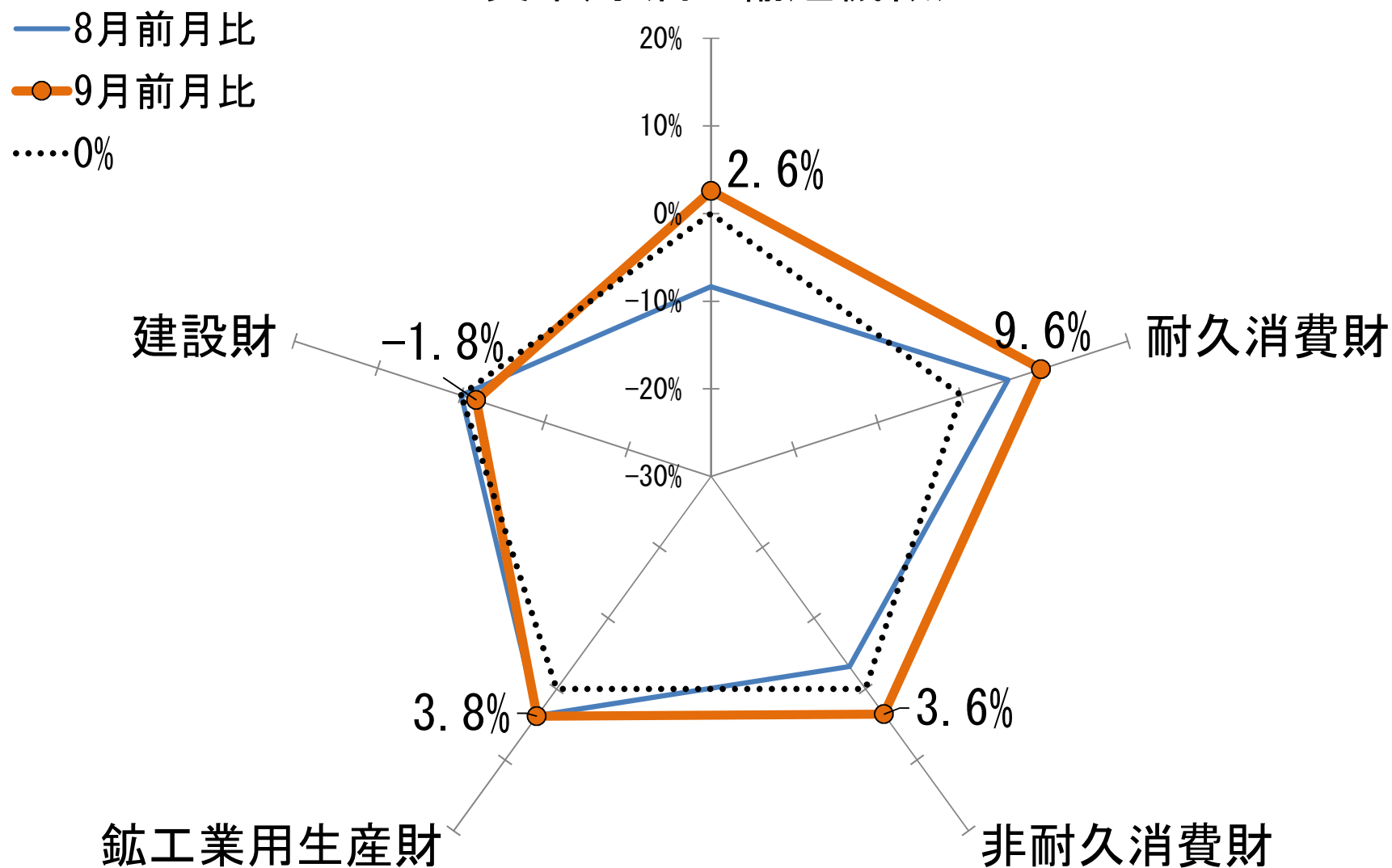
(2015年=100、季節調整済)

- 資本財(除. 輸送機械)
- - - 建設財
- - - 耐久消費財
- 非耐久消費財
- 生産財



財別出荷指数の前月比比較（2020年8月、2020年9月）

資本財(除. 輸送機械)



2020年9月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

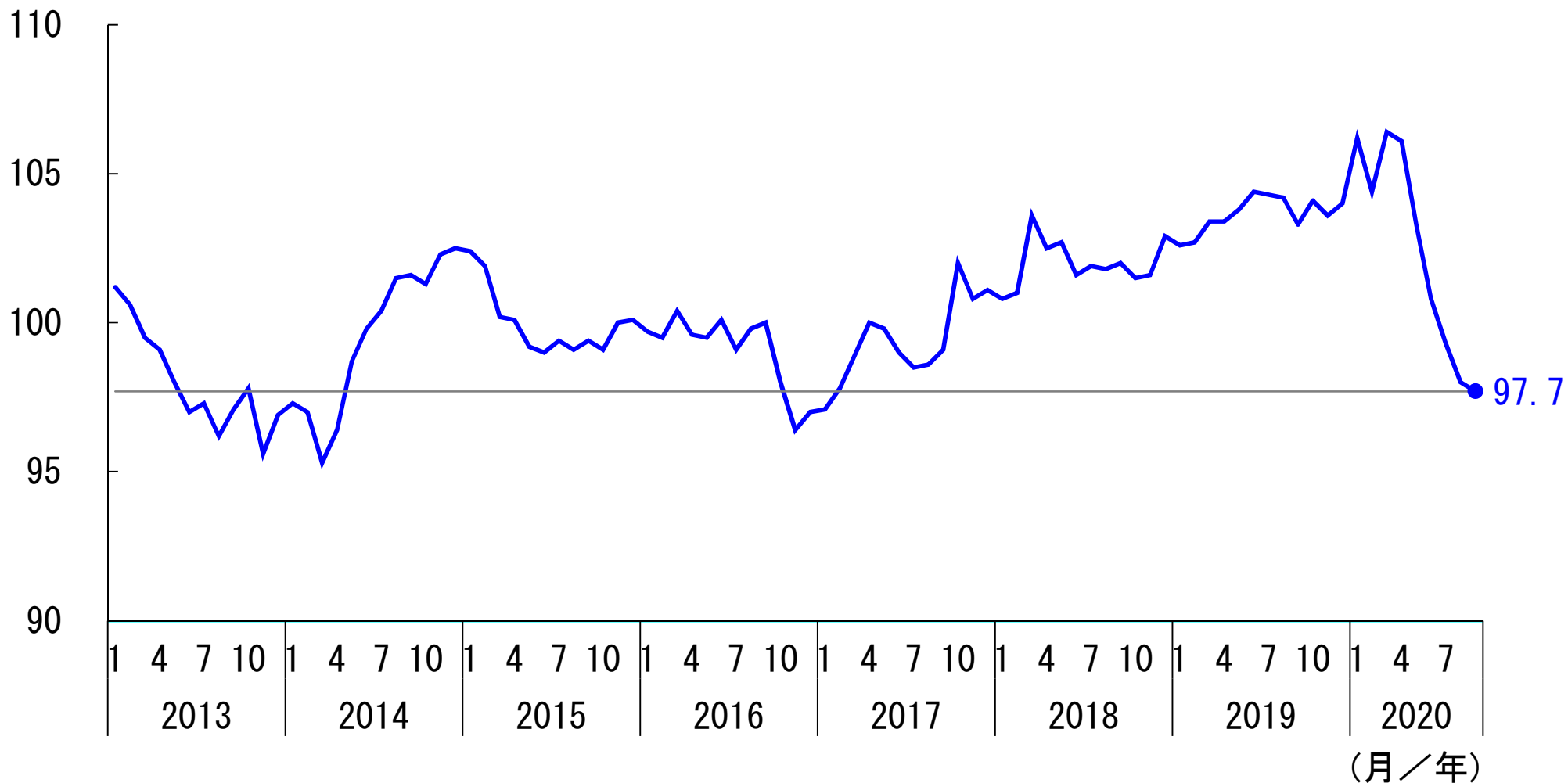
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	3.4%	47.5%
		リチウムイオン蓄電池	50.6%	6.7%
		駆動伝導・操縦装置部品	12.5%	6.4%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	9.6%	25.3%
		普通乗用車	17.4%	25.0%
		カメラ用交換レンズ	10.1%	0.6%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	3.6%	16.6%
		石けん類	29.8%	1.4%
		日焼け止め・日焼け用化粧品	47.4%	1.1%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送用）	2.6%	7.4%
		ショベル系掘削機械	15.7%	4.4%
		半導体製造装置	8.7%	2.6%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-1.8%	-2.7%
		セメント	-7.1%	-1.0%
		エレベータ	-6.2%	-0.5%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

・ 2020年9月の在庫指数は、97.7(前月比-0.3%)と6か月連続の低下。

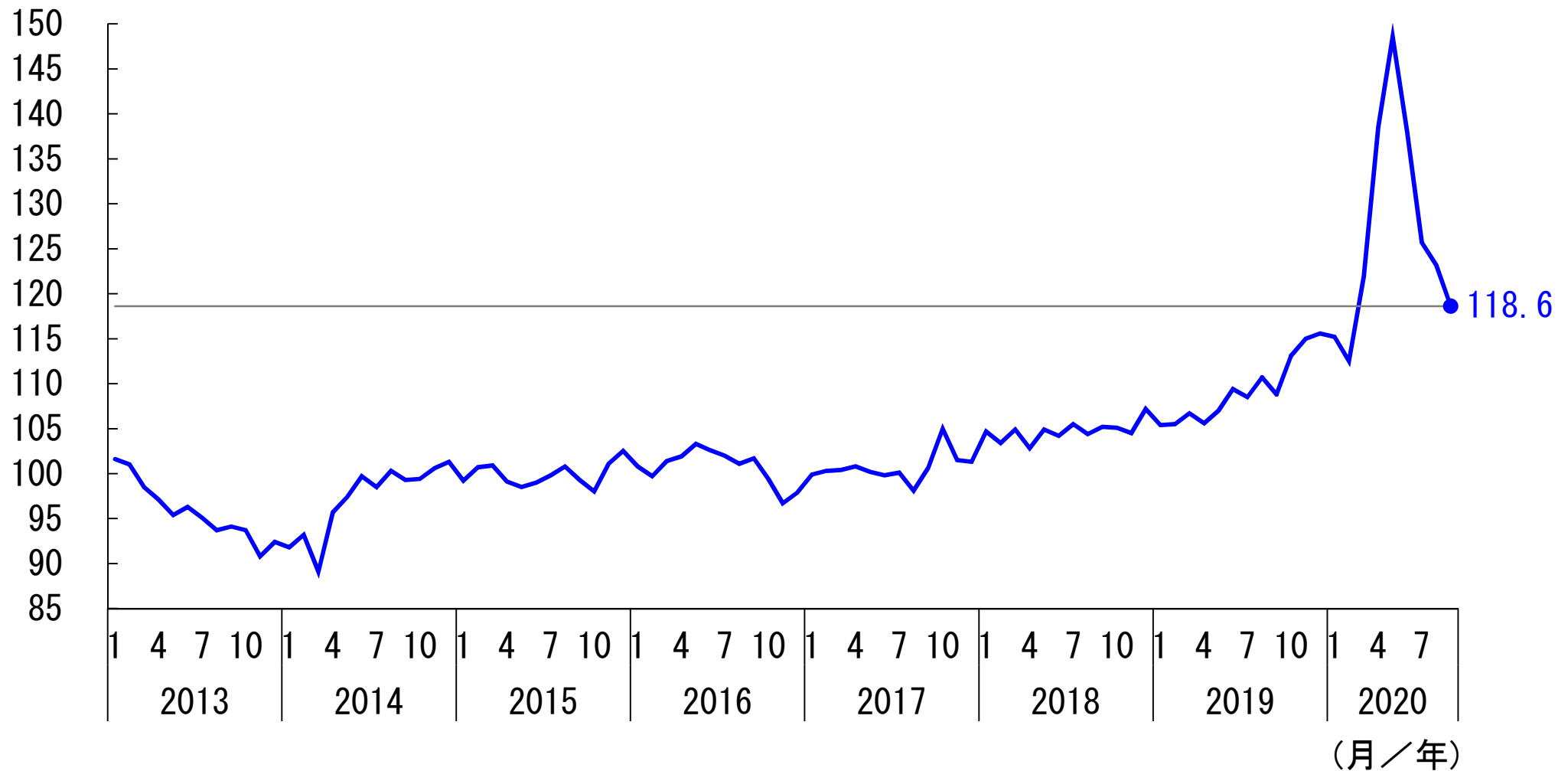
(2015年=100、季節調整済)



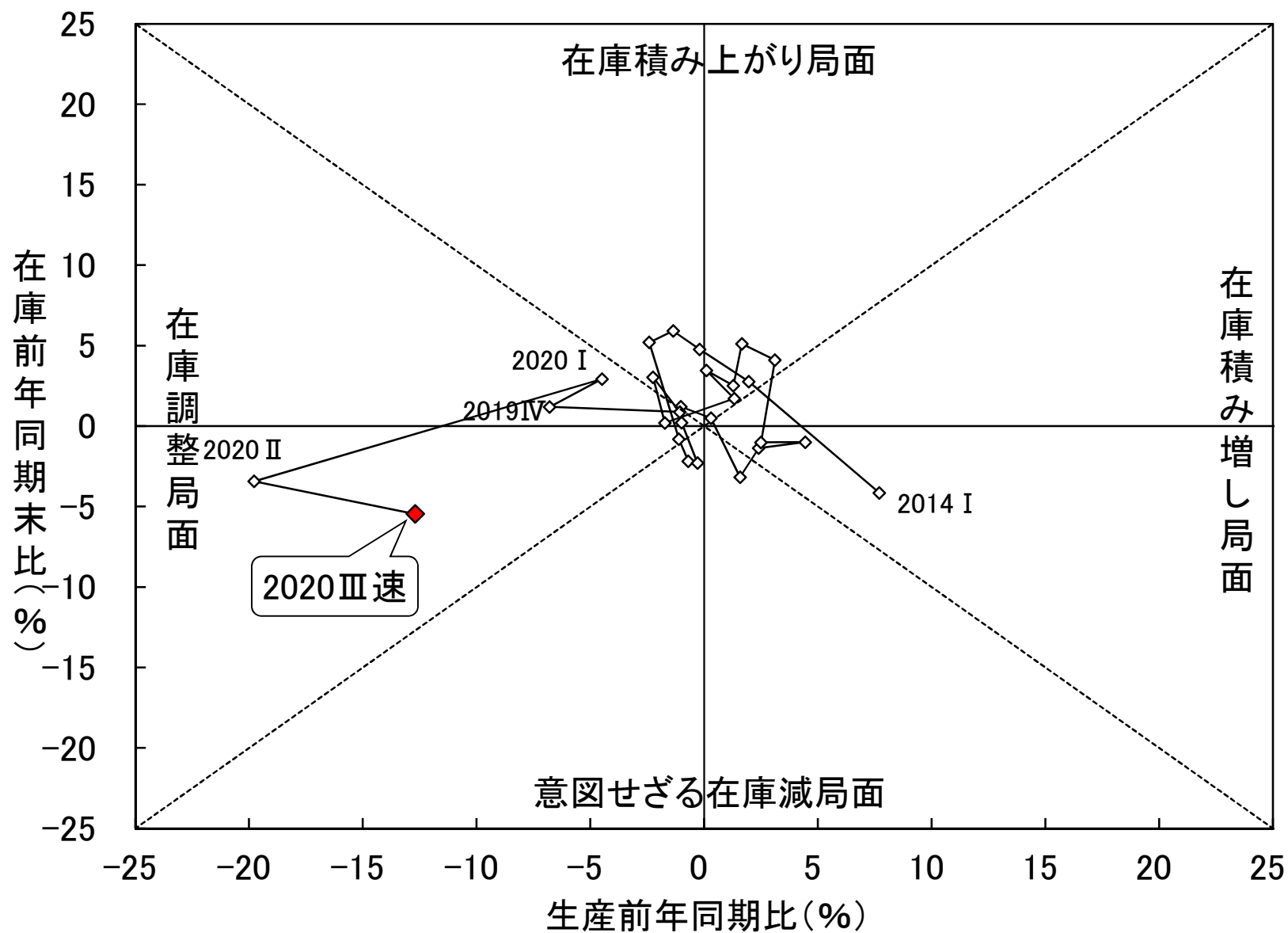
鋁工業在庫率指数の動向

・ 2020年9月の在庫率指数は、118.6(前月比-3.7%)と4か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)



鉱工業の在庫循環図



製造工業生産予測指数（季節調整済前月比（％））

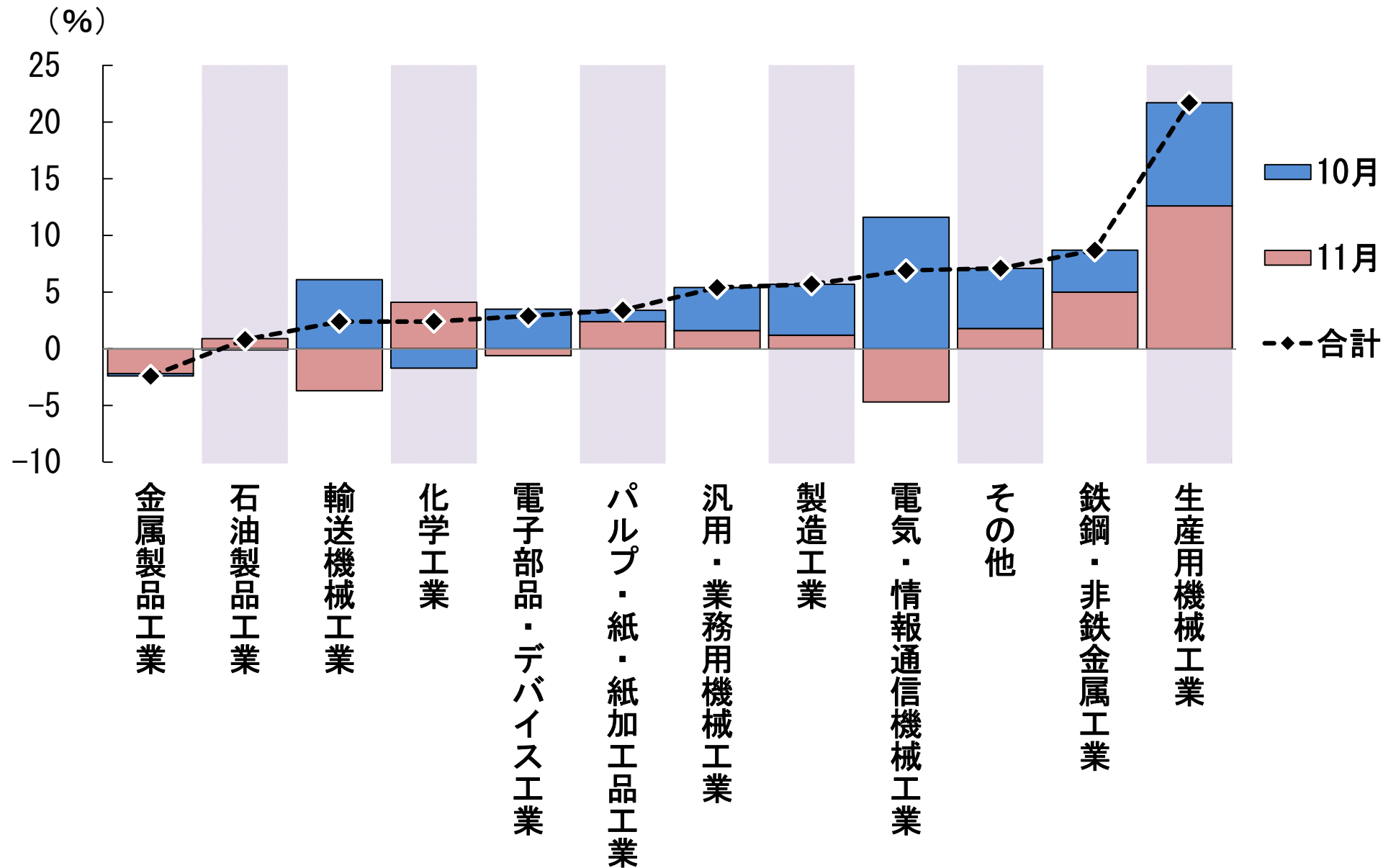
	2020年10月見込み	2020年11月見込み
2020年10月調査(今回)	4.5	1.2
2020年9月調査(前回)	2.9	

製造工業生産予測指数の補正值（季節調整済前月比（％））

	補正值	予測調査結果
10月前月比	1.4 (-0.2~3.0)	4.5

（注）補正值欄の上段が、最も可能性の高い値（最頻値）。
最頻値とならない場合でも、過去の傾向では、（ ）の幅の中に90%の確率で収まる結果となっている。

2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



2020年10月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	6.1%
電気・情報通信機械工業	11.6%
生産用機械工業	9.1%
その他	5.3%
汎用・業務用機械工業	3.8%
電子部品・デバイス工業	3.5%
鉄鋼・非鉄金属工業	3.7%

上昇寄与業種	計画前月比
パルプ・紙・紙加工品工業	1.0%
低下寄与業種	計画前月比
石油製品工業	-0.1%
金属製品工業	-0.2%
化学工業	-1.7%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2020年11月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
生産用機械工業	12.6%
化学工業	4.1%
鉄鋼・非鉄金属工業	5.0%
汎用・業務用機械工業	1.6%
その他	1.8%
パルプ・紙・紙加工品工業	2.4%
石油製品工業	0.9%

低下寄与業種	計画前月比
電子部品・デバイス工業	-0.6%
金属製品工業	-2.2%
電気・情報通信機械工業	-4.7%
輸送機械工業	-3.7%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2020年9月の鉱工業生産の基調判断

「生産は持ち直している」

基調判断の推移

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| ・2016年11月～2017年10月 | 「生産は持ち直しの動き」 |
| ・2017年11月、12月 | 「生産は持ち直している」 |
| ・2018年1月～6月 | 「生産は緩やかな持ち直し」 |
| ・2018年7月～9月 | 「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」 |
| ・2018年10月～12月 | 「生産は緩やかな持ち直し」 |
| ・2019年1月、2月 | 「生産は足踏みをしている」 |
| ・2019年3月 | 「生産はこのところ弱含み」 |
| ・2019年4月～7月 | 「生産は一進一退」 |
| ・2019年8月、9月 | 「生産はこのところ弱含み」 |
| ・2019年10月～12月 | 「生産は弱含み」 |
| ・2020年1月、2月 | 「生産は一進一退ながら弱含み」 |
| ・2020年3月 | 「生産は低下している」 |
| ・2020年4月、5月 | 「生産は急速に低下している」 |
| ・2020年6月 | 「生産は下げ止まり、持ち直しの動き」 |
| ・2020年7月 | 「生産は持ち直しの動き」 |
| ・2020年8月～ | 「生産は持ち直している」 |

2020年7～9月期(速報)各指数の状況 生産・出荷・在庫・在庫率指数

四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	89.0	87.8	97.7	122.5
前期比	8.8%	9.1%	-3.1%	-13.5%
指数水準	2020 I 98.4以来 I 2018IV 105.0 II 2017IV 104.4 III 2018 II 104.3	2020 I 96.7以来 I 2014 I 104.5 II 2018 II 103.6 III 2018IV 103.4	2016IV 97.0以来 ①2014 I 95.3 ②2013IV 96.9 ③2013 II, 2016IV 97.0	2020 I 116.5以来 ①2014 I 91.4 ②2013IV 92.3 ③2013 III 94.3
前期比の動き	2期ぶり+ (2020 I 以来)	7期ぶり+ (2018IV 以来)	2期連続- (2020 II ~ 当期)	9期ぶり- (2018 II 以来)
前期比幅	2015年基準最高水準 I 2020 III 8.8% II 2013 II 2.2% III 2014 I 2.0%	2015年基準最高水準 I 2020 III 9.1% II 2013 II 2.0% III 2016IV 1.7%	2020 II -5.3%以来 ①2020 II -5.3% ②2020 III -3.1% ③2016IV -3.0%	2015年基準最低水準 ①2020 III -13.5% ②2013 II -4.1% ③2016IV -3.5%
前年同期比(原指数)	-12.7%(88.7)	-13.5%(87.5)	-5.5%(96.9)	12.7%(124.0)
前年同期比の動き	7期連続- (2019 I ~ 当期)	7期連続- (2019 I ~ 当期)	2期連続- (2020 II ~ 当期)	12期連続+ (2017IV ~ 当期)
前年同期比幅	2020 II -19.8%以来 ①2020 II -19.8% ②2020 III -12.7% ③2019IV -6.8%	2020 II -19.9%以来 ①2020 II -19.9% ②2020 III -13.5% ③2019IV -6.5%	2015年基準最低水準 ①2020 III -5.5% ②2014 I -4.1% ③2020 II -3.4%	2020 II 30.9%以来 I 2020 II 30.9% II 2020 III 12.7% III 2020 I 10.3%

1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

・ 2020年7-9月期の生産指数は、生産用機械工業が低下したものの、輸送機械工業等が上昇したため、前期比8.8%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

